

NPO法人みやぎ「こうでねいと」
NPO入居サポートセンターみやぎ

支援システム説明

事業開設の背景と経緯

「どうして障害者のための住宅情報誌がないのだろう」

当時の時代背景として…

当時の知事が発進した「施設解体宣言」が話題に
施設から地域への流れの始まり



平成15年

障害者向け賃貸住宅情報誌「ミックタ」
発行

相談件数と契約件数が年々増加



入居サポートセンター開設



入居サポートセンターは平成20年度（独）福祉医療機構
「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

セイフティハウス

地域に生活を求め、自立を目指す人に提供する
「NPO入居サポートセンターみやぎ」が設置している
見守り付き「福祉居宅」です。

H29.7月現在入居者数 101世帯

＜福祉居宅とは＞

「NPO入居サポートセンターみやぎ」が運営する生活支援サービス付の住宅、および食事付き共同生活住居を言い、利用者の生活能力に応じた生活環境を考慮した住まいでセイフティハウス利用契約を締結により提供される住居です。

通常の不動産業者の仲介業務とは異なり、大家さんとみやぎこうでねいととの貸室賃貸借契約を基に行われる住居です



セイフティハウス対象者

< 利用対象者 >

- ① 障害者、高齢者、その他やむを得ない事情で通常アパートなどの仲介業者の賃貸契約基準に適応しないが生活の自己管理が出来、自立生活を目指す方
- ② 医療機関、福祉サービス提供事業所、行政などの関係機関から必要な支援を受けられる方
- ③ 利用契約の規則を守られる方

< 利用出来ない方 >

- ① 社会性が欠如し地域生活に不適切と判断される方
- ② 24時間の医療介護が必要な方
- ③ 必要な医療を受けていない方

入居までの流れ

お問い合わせ・相談シートを入居サポートセンターへ



利用者の希望や状況を確認 状況等に応じて
セイフティハウスの紹介



面談・住居見学



契約・入居

相談シート

グループホーム・セイフティアパート 入居相談シート

FAX送信先: 022-268-0509

申込日: 年 月 日

入居希望者氏名 ふりがな() 男・女	連絡先電話番号 自宅・携帯・その他()	生年月日 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 (満 歳)	
現住所(※施設・病院中の場合は名称を記入のこと) 〒 -			
障害手帳 級 障害内容 直近職歴、病歴、特記事項			
障害者福祉サービス受給者証: 取得済み・未取得(取得予定)・取得不可 ※○で囲んでください ※状況に応じてグループホーム等をご紹介する場合があります			
所得状況 給与等 あり(年収 円)・なし 生活保護適用: 現在生活保護・入居時に申請予定 年金: 国民・厚生・共済・その他() 年額 円			
★入居希望内容 地 域: 間 取 り: 1K・2DK・3DK・その他() 同居者の有無: あり 関係()・なし 保証人予定: あり 関係()・なし 入居希望年月日: 平成 年 月 日 生活用品等: 最小限必要なものは持ち込み・何も無し・その他()			
★現状について ※○で囲んでください			
<input type="checkbox"/> 単身・入院・その他()			
<input type="checkbox"/> 食事を作る…一人でも可・補助があれば可・不可			
<input type="checkbox"/> 洗濯・掃除…一人でも可・補助があれば可・不可			
<input type="checkbox"/> 生活習慣(定時就寝・起床など)…一人でも可・補助があれば可・不可			
<input type="checkbox"/> 通院・服薬…一人でも可・補助があれば可・不可			
<input type="checkbox"/> 日中活動…仕事・通所施設など・なし・その他()			
<input type="checkbox"/> 健康状態(障害を除く)…良好・治療中・要介護(※既往症:)			
★支援機関など(緊急および対応要時の連絡先) 必ず2箇所記載			
名 称・氏 名	所 在 地	電 話	関 係

ホームページよりダウンロードしていただくか、お電話により当センターより郵送

現在の生活状況・障害や既往・収入等を把握するために使用

これまでの入居支援で行ってきたノウハウをシステム化することによりより良いサポート体制が可能になりました

セイフティハウスのサポート

週1回ライフサポーターによる巡回、見守りというセイフティハウス独自のソフト面でのサポートがあります。

通常のアパート等においては、生活していく上での様々な事柄を基本的には全て自分で行わなくてはなりません
そこで、セイフティハウスにおいては、希望により一部有償にて、随時の訪問・同行などのサポートを行っております。

また、行政管轄の事業では無いため、グループホーム等とは異なり、各種福祉サービス等との併用が可能。

ライフサポーターの巡回

多くが単身世帯であり、親類とも疎遠になっている。
孤立・孤独な生活の中での問題の相談及び対応を行います。

例として・・・

- ・ 季節柄による体調管理の声かけ
- ・ 生活状態の確認、必要に応じて関係機関等との調整
- ・ **体調不良時の緊急対応**

巡回風景 1



ごめんください 飯沼です

Excuse me, I'm Iinuma.

ライフサポーター 飯沼
Life supporter Mr. Iinuma

巡回風景 2



変わりなく過ごしていました

I spend it with out what.

こんにちは。最近いかがお過ごしでしたか？

Hello.How have you been recently.

巡回風景 3



必要に応じて、お部屋にて
詳しくお話伺うことも

困ったことが...

The trouble is...

状況を聞かせてください

Please tell me circumstances.

セイフティハウス



通常のアパートやマンションを活用した「単独型」

ある程度身の回りのことが出来る方、自分のペースで生活したい方が主に利用されています。

関係機関との関わり

< 関係機関との関わり >

県外・市外からも含めて、各公的機関、医療機関、福祉支援団体、保護施設などから多数の依頼・相談があります。

これまでの実績から、住宅確保が困難な方に対して、不動産管理会社よりセイフティハウスを紹介いただくこともあります。

セイフティハウスの課題

< 物件の確保困難 >

仙台市は震災の影響もあり、賃貸物件の空室が少ない。その為、震災前は大家様のご厚意でとても良い条件でお貸しいただいたが、現在は家賃の高騰及び条件の困難化などが顕著になっている。

< 緊急時の保証人 >

急な体調悪化などに伴い入院が必要になることがある。その際、入院の同意書の記入者がいない場合、入院手続きが非常に困難になる場合がある。

最新の状況は . . .

最新情報はホームページへ

みやぎこうでねいと

検索

